

平成24年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総 会

日 時:平成25年3月29日(金)14:00～15:30

会 場:愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール

主 催:四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

平成24年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会次第

日 時：平成25年3月29日（金）14：00～15：30

場 所：愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール

開 会

会長挨拶 柳澤 康信 学長（愛媛大学）

【議 題】

1. 平成24年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
【資料1】
2. 平成24年度事業収支について
【資料2-1～2】
3. 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約等の改正について
【資料3-1～2】
4. 役員を選出について
【資料4-1～2】
5. 平成25年度事業計画について
【資料5】
6. 平成25年度事業予算について
【資料6-1～2】
7. その他
 - (1) SPOD事業評価委員会委員について
【資料7】
 - (2) 平成24年度FD／SD活動の取組報告について
【資料8】
8. 意見交換

閉 会

配付資料一覧

- 資料 1 平成 24 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
- 資料 2 - 1 平成 24 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書（案）
- 資料 2 - 2 平成 24 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳（案）
- 資料 3 - 1 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（改正案）
- 資料 3 - 2 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会要項（改正案）
- 資料 4 - 1 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員の選出について（案）
- 資料 4 - 2 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）
- 資料 5 平成 25 年度 S P O D 事業計画（案）
- 資料 6 - 1 平成 25 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算（案）
- 資料 6 - 2 平成 25 年度共同事業契約における役割分担等について（案）
- 資料 7 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員名簿
- 資料 8 平成 24 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校取組報告書
- 参考資料 1 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約
- 参考資料 2 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿
- 参考資料 3 共同事業契約書

平成24年度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 事業総括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会
2013.3.29

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
企画・実施統括者 佐藤 浩章
(愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 副室長)

内容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 平成24年度事業の総括
 - (1) 事業計画
 - (2) 各事業の取組の成果
 - (3) 事業評価
 - (4) 総括



(昨年度のネットワーク総会の模様)

2

1. SPOD事業の概要

SPODは、四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD/SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に平成20年10月に設立。

- ・四国地区の全ての高等教育機関33校が加盟
- ・地域ネットワークとして、FD・SD大学間連携のモデル
- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・加盟校の教職員、全84プログラムに延べ2000名以上が参加

3

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿 ※平成24年4月1日現在

会長	柳澤 康信	愛媛大学 長
副会長	香川 征吾	徳島大学 長
副会長	長尾 省宏	香川大学 長
副会長	脇口 宏彦	高知大学 長
監事	榎方 信彦	松山東雲女子大学 長
		松山東雲短期大学 長
監事	嘉門 雅史	香川高等専門学校 長
企画・実施統括者	佐藤 浩章	

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 副室長

4

加盟校

【愛媛】12校
(大学5)

- 愛媛大学(国)、愛媛県立医療技術大学(公)、聖カタリナ大学(私)、松山大学(私)、松山女子大学(私)(短期大学5)
- 今治明德短期大学(私)、東太平洋大学短期大学部(私)、松山東豊短期大学(私)、松山短期大学(私)、聖カタリナ大学短期大学部(私)(高等専門学校2)
- 新居浜工業高等専門学校(国)、弓削商船高等専門学校(国)

【香川】7校
(大学4)

- 香川大学(国)、香川県立保健医療大学(公)、四国学院大学(私)、高松大学(私)(短期大学2)
- 香川短期大学(私)、高松短期大学(私)(高等専門学校1)
- 香川県専門学校(国)

33校(四国地区の全高等教育機関が加盟)
大学16、短期大学5
(平成24年4月現在)

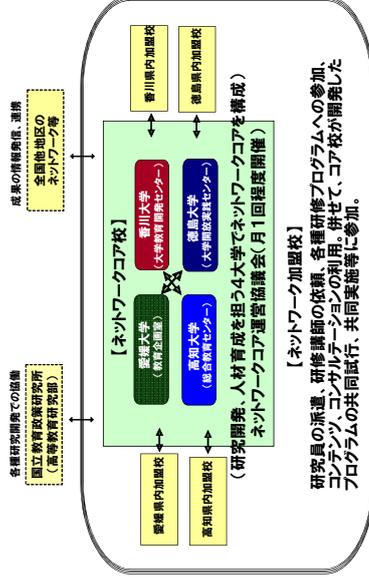
【高知】6校
(大学3)

- 高知大学(国)、高知県立大学(公)、高知工科大学(公)(短期大学2)
- 高知短期大学(私)、高知学院短期大学(私)(高等専門学校1)
- 阿南工業高等専門学校(国)

【徳島】8校
(大学4)

- 徳島大学(国)、徳島教育大学(国)、四国大学(私)、徳島文理大学(私)(短期大学3)
- 四国大学短期大学部(私)、徳島工業短期大学(私)、徳島文理大学短期大学部(私)(高等専門学校1)
- 阿南工業高等専門学校(国)

ネットワーク体制

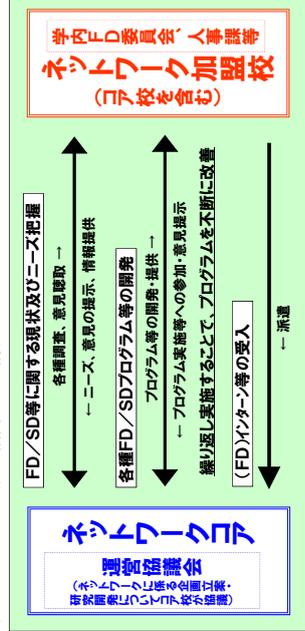


【ネットワーク加盟校】
研究員の派遣、研修講師の依頼、各種研修プログラムへの参加、コンテンツ、コンサルティングの利用、併せて、コア校が開発したプログラムの共同試行、共同実施等に参加。

【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

【連携内容】

(ネットワークコア、加盟校間での連携)



3. 平成24年度事業の総括

(1) 事業計画

(計画内容)

1. FD事業
 - ・新規採用教員研修
 - ・FDファンリテーター養成研修
 - ・ティーチング・ポートフォリオ(教員業績記録)作成・更新ワークショップの実施
 - ・教育系外部資金獲得のためのワークショップ(新規)
 - ・組織開発に関する共同事業研究(新規) など
2. SD事業
 - ・講師養成プログラム、次世代リーダー養成プログラムなどの実施
 - ・学務系職員養成プログラム(レベルⅡ)の実施(新規)
 - ・スタッフポートフォリオ(職員業績記録)の開発
 - ・各種SDプログラムの開発、実施 など
3. SPOD7フォーラム
4. SPOD共通事業
 - ・SPOD内講師派遣
 - ・遠隔専用セミナー「SPODチャンネル」の配信(新規)
5. SPOD運営

9

(2) 各事業の取組の成果

(内容)

- ① ファカルティー・ディベロップバー(FDer)の養成
- ② 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の開発
- ③ 組織開発における共同事業研究
- ④ 専門職養成プログラムの開発・実施
- ⑤ SPOD内職員講師の養成
- ⑥ 次世代リーダー養成プログラムの実施
- ⑦ SPOD-SDCの認定
- ⑧ SPOD7フォーラムの実施
- ⑨ SPOD内講師派遣プログラムの実施
- ⑩ ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議
- ⑪ 広報活動

10

① ファカルティー・ディベロップバー(FDer)の養成

FDファンリテーター養成研修

目的:各加盟校におけるFDを企画・実施できるFDリーダーの養成

実績:徳島大学主催で1回開催(計17名参加)

平成24年6月9日～10日

会場(独立行政法人「国立淡路青少年交流の家」)

事後アンケート:参加者全員から「満足」という回答。



平成24年度FDファンリテーター養成研修受講者

過去4年間の参加者:計114名

※各大学等においてFD担当者の育成が進んでいる。

11

② 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の開発

■ TP作成ワークショップ

メンターの養成を目的に3回実施

① 西四国(愛媛・高知)FD担当者対象

【会場】愛媛大学 愛大ミューズ

② 東四国(徳島・香川)FD担当者対象

【会場】徳島大学 常三島キャンパス

③ 高等専門学校教員対象

【会場】愛媛大学 愛大ミューズ

※③については、アカデミック・ポートフォリオ(AP)作成ワークショップも同時開催



■ TP更新ワークショップ

TPを更新し、自らを振り返ることを

目的に1回実施

① H24. 8. 22

【会場】徳島大学 常三島キャンパス

※SPODフォーラム2012において開催



12

③組織開発における共同事業研究

今年度2回開催したFD/SD専門部会及びネットワークコア運営協議会の中で、次年度からの本事業名の変更及び本事業の中に5つのワーキンググループを設置することが決定された。

【平成25年度からの事業名称】 **調査・研究プロジェクト事業**

【本事業の目的】 SPODでの連携効果、組織変容等を調査し検証する

【5つのワーキンググループ】

- ①高等教育教授能力証明プログラム検討ワーキンググループ(FD部門)
- ②連携効果検証ワーキンググループ(FD部門)
- ③組織変容検証ワーキンググループ(FD部門)
- ④学生調査・IRワーキンググループ(FD部門)
- ⑤連携効果・組織変容検証ワーキンググループ(SD部門)

※平成25年度からの本格実施に向け、各ワーキンググループは、調査項目や調査対象等の調査計画を検討した。



平成24年度第2回FD専門部会 (H24.12.7)

13

④専門職養成プログラムの開発・実施

SPODが開発した以下のプログラムを新規に実施。

- ・「学務系職員養成プログラム(レベルII)」
- ・「社会連携入門 ～これであなとも社会連携通～」

■学務系職員養成プログラム(II)

- 【日時】平成24年7月12日(木)～13日(金)
 【会場】愛媛大学 【参加者】22名
 【内容】学生相談実践、学生危機管理対応実践、インターンシップ支援実践 など
 【アンケート結果】回答者の約95%が「満足」と回答



学務系職員養成プログラム(愛媛大学)

■社会連携入門 ～これであなとも社会連携通～

- 【日時】平成24年8月23日(木)
 ※SPODフォーラム2012期間中
 【会場】徳島大学 【参加者】37名
 【内容】社会連携を巡る基礎知識及び用語や概念を学び、さらに社会連携事業が抱える課題からその解決策を探る。
 【アンケート結果】回答者の約86%が「満足」と回答



社会連携入門(徳島大学)

14

⑤SPOD内職員講師の養成

【講師養成プログラム】

目的：研修プログラムの講師をできる職員を育成。

成果：受講者が実際に、SPODフォーラム2012、「学務系職員養成プログラム」、「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)」の講師を務めた。

■平成24年度講師養成プログラム

- (1)第1回講師養成研修
 【日時】平成24年5月18日(金)
 【会場】愛媛大学 【参加者】11名
 【内容】ビジネスマナー入門編
 (大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルI))
- (2)第2回講師養成研修
 【日時】平成25年2月6日(水)～8日(金)
 【会場】愛媛大学 【参加者】12名
 【アンケート結果(第1,2回)】
 回答者全員が「満足」と回答



第1回講師養成研修 (ビジネスマナー入門編)

15

⑥次世代リーダー養成プログラムの実施

実績：計17名で各4回のプログラムを実施

受講者：2期生8名、3期生9名

内容：高等教育に関する第一人者の講義を受け、多数の課題をクリアしながら、次世代のリーダーとして、大学等の運営を担うために必要な技能、知識、態度を身につけることを目指した。最終回には受講者に修了プロジェクトの提出、発表及び口頭試問を課し、修了判定を実施。

※第2期生8名、修了要件不足により引き続き受講していた第1期生1名が修了。

■次世代リーダー養成プログラム(計4回)

- ①第1回 H24.6.21～23【会場】愛媛大学、松山大学
 【講師】山本真一、石渡尊子(桜美林大学)ほか
- ②第2回 H24.7.19～21【会場】徳島大学、四国大学
 【講師】船戸高樹(九州共立大学)ほか
- ③第3回 H24.11.15～16【会場】高松テルサ(香川大学)
 【講師】デニス・ロドリゲス(米田 ワシントン大学/ハセル校人専部長)ほか
- ④第4回 H25.1.24～26【会場】高知大学、高知工科大学
 【講師】深見公雄(高知大学理事)ほか



次世代リーダー養成研修(第3回) 高松テルサ

16

⑦SPOD-SDCの認定(SDの実践的指導者)

平成24年度、新規に2名の教職員を認定

■ SPOD-SDCの認定について

【会議名】第4回、第7回ネットワークコア運営協議会

【認定審査対象者】2名

(1) 阿部 光伸

(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室)

(2) 岸岡 洋介

(愛媛大学教育学生支援部教育企画課員)

※「SPODにおけるスタッフ・ディベロップメント・コーディネーターの名称付与基準」に基づき認定

今年度を含め、これまでに5名のSPOD-SDCを認定

【参 考】SPODにおけるSDCの名称付与基準について
SPOD-SDCの名称は、大学人、社会人としての基礎力養成プログラムの全科目を修了し、単位認定を受けた職員又はSD専門部会が同等の能力があると認めたる者



第4回ネットワークコア運営協議会
(H24.7.31 愛媛大学)

17

⑧ SPODフォーラムの実施

・スキルアップにつながる実践的なプログラムを集中的に提供
・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD/SDプログラム及び組織を超えた意義ある相互交流・関係づくりの場を提供。

■ SPODフォーラム2012

【日時】平成24年8月22日(水)～24日(金)

【会場】徳島大学常三島キャンパス

【参加者】1496名(延べ1432名) ※うちSPOD外：123名

【プログラム数】44プログラム

【アンケート結果】

回答者の約97%が「満足」と回答。

○ 新編プログラム

- ・自律的学習への支援に向けて - 授業外学習を促すために-
- ・職場内における人材育成の仕方
- ・立場や世代を超えた組織づくり -「ワールド・カフェ」で実現しよう！組織の活性化-



立場や世代を超えた組織づくり
-「ワールド・カフェ」で実現しよう！組織の活性化-

など

★SPODフォーラム2013は愛媛大学で開催決定★

【日時】H25.8.20～8.23 【会場】愛媛大学城北キャンパス

【全体テーマ】ポータルフォリオ(TP, SP, LP)による教育の質向上

18

⑨SPOD内講師派遣プログラムの実施

加盟校がSPODに加盟するメリットとして、加盟校単位で希望するプログラムを、SPODから研修講師を年1回無料で派遣。
※平成24年度はコア校の講師15名を24機関に派遣。

■平成24年度SPOD内講師派遣実績

【派遣機関】24機関 【派遣講師】15名

【受講者数】755名(うち学外63名)

【アンケート結果】

参加者の約95%が「全体的に満足」と回答。

【本事業実施による成果】

- ・各教員の教育力向上意識が高まった。
 - ・授業改善に対する努力が教員に見られるようになった。
 - ・学内外の教員との情報交換など交流ができた。
 - ・自分自身の振り返りができ、今後の業務、自分の将来について考えるよい機会となった。
- ※派遣した全機関から本事業の継続希望があった。



高専生も元気にする学生指導法のコツ
(平成24年8月2日 富川高専専門学校)

19

⑩SPOD内講師派遣プログラムの実施

機関	派遣講師	受講者数	満足度	継続希望
徳島大学	徳島大学 徳島大学	15	満足	希望
愛媛大学	愛媛大学 愛媛大学	15	満足	希望
高専	高専 高専	15	満足	希望
...
合計	24機関	755名	95%	希望

20

⑩ ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

- ・ネットワークコア校が月1回程度、事業の実施、運営上の諸課題等について協議。
- ・ネットワークコア校は、ネットワークコア運営協議会の報告や各県内の加盟校のニーズ聴取を目的とした県内加盟校会議を開催。

【平成24年度開催実績】

- ネットワークコア運営協議会：9回開催
6回：遠隔講義システム
1回：高知大学開催
2回：愛媛大学開催

■ 県内加盟校会議

- ※ 徳島県内加盟校会議3回
愛媛県内加盟校会議2回
高知県内加盟校会議1回



21

⑪ 広報活動

SPODの成果は、全国的にも注目されており、大学教育学会や大学行政管理局学会などの各種学会をはじめ、全国会議や広報誌でもSPODの取組を紹介するなど、広く情報提供・発信を行っている。また、四国地区以外の大学等からも取組事例の発表依頼も多くある。さらに、これまで実施した過去の取組を広く知っていただくため、SPODホームページの改修を行った。

(1) 各種学会等での事例発表実績

- 平成24年度大学教育研究センター等協議会での事例発表
日 時：平成24年8月2日(木)、場 所：愛媛大学
タイトル：教職員能力開発拠点におけるSPODとの連携について
発表者：佐藤浩章(愛媛大学)
- 大学行政管理学会 定期総会・研究会での事例発表
日 時：平成24年9月9日(日)、場 所：芝浦工業大学
タイトル：①「地域型教職員能力開発ネットワークの有効性～SPODフォーラム受講者アンケートからの考察～」
②「スタフ・ポートフォリオ導入における現状と課題」
発表者：①阿部光伸、秋谷恵子、山内ちあき(愛媛大学)
②大竹奈津子、吉田一恵(愛媛大学)



スタフ・ポートフォリオ導入における現状と課題

22

⑪ 広報活動

(2) SPOD教員ニーズアンケートに基づく論文発表

- 大学教育研究ジャーナルへの論文掲載
平成23年度に全加盟校の教員を対象に実施したニーズアンケート結果を分析し、今後のFDのあり方についてまとめた論文を発表。
掲載誌：徳島大学 大学教育研究ジャーナル第10号
論文名：大学・短大・高専教員の研修ニーズとFDの課題
執筆者：城間祥子(上越教育大学)
佐藤浩章、山田剛史、大竹奈津子(愛媛大学)
吉田 博(徳島大学)、俣野秀典(高知大学)



大学教育研究ジャーナル

23

⑪ 広報活動

(3) SPODホームページの改修

主な改修箇所

- SPODフォーラム概要ページの開設
SPODフォーラムの申込み時期のみ、専用ページを開設していたが、フォーラムの概要を広く発信するため、特徴、過去の概要、次の案内を掲載。
- 研修プログラムガイドのページの開設
SPOD加盟校のみでなく、加盟校外からも関心の要望が高いことから、トップページにバナー及び専用ページを設置。過去のプログラムガイドも提供している。
- SPODチャンネルの提供
加盟校専用ページに、SPODチャンネル(FD及びSSD)のページを開設。現在は試行段階であるが、来年度以降本格実施を目指す。



SPODフォーラム概要ページ

24

(3)事業評価

(内容)

- ①SPOD事業評価委員会
- ②SPODに対する外部からの評価

25

① SPOD事業評価委員会

外部有識者3名を含む委員会が、SPODが作成した活動報告書をもとに書面により事業評価。その評価結果をもとに事業を改善。

【委員会委員(2012年度)】

小田 隆治 山形大学高等教育研究企画センター 教授
各務 正 順天堂大学総務局企画調整室 部長
佐藤 浩章 愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
副室長 准教授
塩崎 俊彦 高知大学総合教育センター長、教授
夏目 達也 名古屋大学高等教育研究センター 教授

(敬称略 五十音順)

26



平成24年度SPOD事業評価委員会からのコメント(1)

1. 全体的な本事業へのコメント

- ・ 調査・研究プロジェクトは重要であり、評価できる。研究成果が他地域の活動への参考となり得る。研究倫理面や外部対応に耐えうる普遍化した知見を期待したい。
- ・ 自分たちの強みをどう強調していくのかという点で検証することは非常に良いことである。しっかりと検証して次の発展を目指す段階である。
- ・ SPODのこれまでの幅広い取組によって、大学間連携の可能性を示すことができている点が十分に評価できる。

27

平成24年度SPOD事業評価委員会からのコメント(2)

2. 指摘事項

- ・ 教員と職員でプログラムを分けているが、今後、教職協働という観点からどのように融合していくのか。
- ・ 教・職・学を明確に打ち立ててはどうか。特に、FD・SDに学生の視点を入れることが重要ではないか。

3. 今後の提案事項

- ・ SPOD立ち上げの原点に立ち返り、組織哲学を明確にすることが次の発展につながる。
- ・ マンネリ化を回避するためにも、SPODの持てる資源(プログラム)の中で最適値を見つける取捨選択を行う。

28

②外部からの評価

SPODは、大学連携の先進的な取組として、その成果が広く紹介され、高く評価されている。

文部科学省中央教育審議会大学分科会大学教育部会において、愛媛大学 佐藤浩章(SPOD企画・実施統括者)から、SPODの取組事例をもとに、「日本のFDIに関する3つの提言」を行った。

■文部科学省中央教育審議会大学分科会での事例発表

会議名：大学教育部会(第15回)

日時：平成24年5月21日(月)15時～17時

場所：文部科学省東館3階 3F1特別会議室

タイトル：「日本のFDIに関する3つの提言～愛媛大学と

四国地区大学教職員能力開発ネットワークを事例に～」

発表者：佐藤浩章(愛媛大学)



大学教育部会(第15回)発表資料

29

(4) 総括

計画どおり順調に進展

(課題)

①FD

- ・新任教員研修プログラム修了証明の標準化
- ・FDer(ファカルティ・ディベロップター)の養成

②SD

- ・SDC、SPOD内研修講師の養成
- ・専門分野別プログラムの開発
- ・次世代リーダー養成プログラムの効果検証

30

(4) 総括

③FD・SD共通

- ・受講者及び組織における効果・検証
- ・機関毎の組織的な取組の継続的支援
- ・中間管理職層を対象とした研修プログラムの開発・実施
- ・共同研究の実施

加盟校の連携により、様々な成果を上げることができました。

御礼申し上げます。

平成25年度も引き続き、SPOD事業に対して、ご協力をよろしくお願いいたします。



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

31

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 (改正案)

〔平成20年10月18日
制 定〕

(名称)

第1条 本会は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education。以下「SPOD」という。) と称する。

(目的)

第2条 SPODは、四国地区の大学及び高等専門学校 (以下「大学等」という。) の連携・協働により、地区内のFD/SD事業の推進と大学等の教育力の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 SPODは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) FD/SDプログラム等の調査研究及び開発
- (2) FD/SDプログラム等の共同実施及び共同利用
- (3) FDe r (ファカルティー・ディベロッパー) 及びSDC (スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター) の養成
- (4) 参加大学等間における職員派遣等による交流
- (5) その他SPODの目的を達成するために必要な活動

(加盟校)

第4条 SPODは、別表第1に定める加盟校をもって構成する。

- 2 四国地区の大学等で、SPODの目的及び事業に賛同するものは、新たにSPOD加盟校となることができる。ただし、その大学等の所在する県のコア校の承認を得なければならない。
- 3 SPODを退会する場合には、会長の承認を得なければならない。ただし、原則として退会する3ヶ月前までに会長に申し出るものとする。

(コア校)

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

- 2 コア校は、共同でネットワークコアを形成して、第3条各号の事業を企画立案、実施するほか、各県内の加盟校からの意見の集約及び調整等を行う。

(その他の加盟校)

第6条 加盟校のうち、前条のコア校以外の大学等は、ネットワークコアの依頼に応じて、第3条各号の事業に参加する。

(代表校)

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

- 2 代表校は、コア校の互選により選出する。
- 3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

(会長、副会長、監事及び企画・実施統括者)

第8条 SPODに、会長 (1名)、副会長 (3名)、監事 (2名) 及び企画・実施統括者 (1名) を置く。

- 2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。
- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。
(総会)

第9条 SPODに、総会を置く。

- 2 総会は、加盟校をもって構成し、代表校が招集する。
- 3 総会の議長は、会長が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 加盟校は、当該加盟校を代表して総会に出席する者1名(以下「代表者」という。)を、事前に登録しなければならない。ただし、加盟校に所属する他の者が、事前に登録した者を代理し、又は総会に陪席することを妨げない。
- 6 総会は、次の事項を審議する。
 - (1) SPODの活動方針及び活動報告に関すること。
 - (2) SPODの規約に関すること。ただし、別表を除く。
 - (3) 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の選出に関すること。
 - (4) SPOD事業契約の役割分担に関すること。
 - (5) SPODの予算及び決算に関すること。
 - (6) その他全加盟校による審議が望ましい事項
- 7 総会は、加盟校の過半数が出席しなければ、開会することができない。ただし、加盟校は、審議事項があらかじめ決定している場合においては、事前の意見提出をもって出席に代えることができる。
- 8 総会の議事は、出席の加盟校の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(ネットワークコア運営協議会)

第10条 SPODに、ネットワークコア運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、コア校をもって構成し、原則として月1回開催する。
- 3 協議会の議長は、企画・実施統括者が務める。
- 4 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。
- 5 協議会は、次の事項を協議する。
 - (1) SPODの活動に係る企画立案及び実施に関すること。
 - (2) SPODの行う研究開発、人材育成等に関すること。
 - (3) その他SPODに係る重要な事項
- 6 協議会における協議概要及び配付資料は、原則として加盟校に配付する。

(事業評価委員会)

第11条 SPODに、協議会が作成した実績報告書を基に事業評価を行う事業評価委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

- 2 委員会に関し必要な事項は、別に定める協議会が作成した実績報告書を基に事業評価を行う。
- ~~3 委員会は、その委員の過半数をSPODの加盟校以外に所属する者により構成する。~~
- ~~4 委員会の議長は、企画・実施統括者が務める。~~
- ~~5 議長に事故があるときは、議長があらかじめ指名する者がその職務を代行する。~~
- ~~6 委員会は、第2項に定める事業評価を行った後、その結果を協議会に報告する。~~

(事務局)

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

(会計)

第13条 SPODの事業経費は、加盟校からのネットワーク年会費及びその他収入をもって充てる。

2 監事は年1回の監査を行う。

(その他)

第14条 本規約に定めるもののほか、SPODの運営に関し必要な事項は、総会又は協議会が別に定める。

附 則

1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。

2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

附 則

この規約は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)
事業評価委員会要項(改正案)

平成21年3月6日
ネットワークコア運営協議会決定

(設置)

第1条 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第11条の規定に基づき、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(以下「SPOD」という)に事業評価委員会(以下「評価委員会」という)を置く。

(目的)

第2条 評価委員会は、SPOD実施事業に対して評価を行い、もってSPOD実施事業の改善に資することを目的とする。

(組織及び運営)

第3条 評価委員会は、~~企画・実施統括者、SPOD事業担当者及びSPOD加盟校以外の大学等関係者(大学等におけるFD/SD活動に造詣が深い者)~~をもって組織する。ただし、委員はSPOD加盟校以外の機関に所属する者とする事業担当者は、~~全委員の半数以下でなければならない。~~

- 2 前項の委員は、ネットワークコア運営協議会(以下、「運営協議会」という。)の議を経て、会長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員会に議長を置き、~~企画・実施統括者をもって充てる委員の互選により選出する。~~議長に事故があるときは議長が予め指名する委員が、その職務を代行する。
- 5 委員会に関する事務は、代表校において処理する。

(評価方法)

第4条 評価委員会は、運営協議会が作成した実績報告書を基に、評価を行い、~~その結果を運営協議会に報告うものとする。~~

(評価項目)

第5条 委員会は、次に掲げる事項について評価を行う。

- (1) SPODの組織運営体制に係る事項
- (2) SPODの行うFD事業に係る事項
- (3) SPODの行うSD事業に係る事項

(評価の公表)

第6条 SPODは、評価結果をホームページ等を通じて公表する。

附 則

この要項は、平成21年3月6日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員の選出について（案）

平成25年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（以下「SPOD」という。）事業の実施にあたって、SPOD規約第8条第5項に基づく、平成24年度末での役員の任期満了に伴い、以下1～5の選出を行う。なお、監事の選出方法については、資料4-2の選出基準に基づき選出する。

1. 代表校／事務局（規約第7条及び第12条関係）

愛媛大学

2. 会長（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）

愛媛大学長 柳澤 康信 学長

3. 副会長（規約第8条第1項、第3項、第5項及び第7項関係）

徳島大学 香川 征 学長

香川大学 長尾 省吾 学長

高知大学 脇口 宏 学長

4. 監事（規約第8条第1項、第4項、第5項及び第8項関係）

鳴門教育大学 田中 雄三 学長

高知県立大学 南 裕子 学長

5. 企画・実施統括者（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第9項関係）

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 佐藤 浩章 副室長

【参考】SPOD規約抜粋

（代表校）

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

（事務局）

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）

平成25年度の「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（以下「SPOD」という。）の運営にあたって、SPOD規約に基づき、会長等の役員の選出を行う。監事については、「コア校以外の加盟校」から2名（任期2年）を選出することとしているため、以下の選出方法により実施する。

（1）選出基準

以下①と②を組み合わせる。

- ①設置形態のバランスを考慮し、国立、公立、私立、高専から2名を選出する。4年間で全ての設置形態から選出されるようにする。
- ②地域バランスを配慮し、2名を選出する。4年間で全ての県から選出されるようにする。

（2）監事の選出方法

ネットワークコア運営協議会で検討し、推薦する。

（ネットワークコア運営協議会での審議結果）

上記選出基準、選出方法に基づき、平成25年3月4日（月）開催のネットワークコア運営協議会において検討を行った。2期目（平成25年度～26年度）の監事については、選出基準①より、国立及び公立から選出、②より徳島県及び高知県から選出することになり、本協議会での審議の結果、鳴門教育大学長及び高知県立大学長を推薦することとなった。

なお、次期監事については、平成25年3月29日（金）開催のネットワーク総会の議を経て決定することを確認した。

※1期目（平成23年度～24年度）

- ・愛媛県：松山東雲女子大学・短期大学（私立・四年制と短大が併設）
- ・香川県：香川高等専門学校（高専）

【参考】SPOD規約抜粋

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

- 2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。
- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

平成25年度SPOD事業計画（案）

1. FD事業

- ・新規採用教員研修（年5回） 開催場所：各コア校 ※愛媛大学は2回実施
- ・FDファシリテーター（FD担当者）養成研修（年1回） 開催場所：徳島大学
- ・ファカルティ・ディベロッパー（FDer）養成研修（年1回）
開催場所：京都市内 共催：大学コンソーシアム京都，日本高等教育開発協会（予定）
※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）の事業として実施
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年3回）
 - ①全加盟校教員対象（年2回）
開催場所：東四国－徳島大学 西四国－愛媛大学
共催：大学評価・学位授与機構（予定）
 - ②高専対象（年1回） 開催場所：愛媛大学 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
- ・ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ（年1回）
開催場所：愛媛大学または徳島大学 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
- ・アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ（年1回）
開催場所：愛媛大学 共催：大学評価・学位授与機構（予定）
- ・各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2013掲載したプログラム，派遣事業プログラム

2. SD事業

- ・講師養成プログラム（年2回） 開催場所：愛媛大学1回，コア校1回
平成25年6月中旬・平成25年11月上旬
※主担当校：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回） 開催場所：愛媛大学
レベルⅠ 1回 5月上旬，10月中旬
レベルⅡ 1回 9月下旬
レベルⅢ 1回 7月上旬
共通科目 1回 12月上旬
※主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・学務系職員養成プログラム（年2回） 開催場所：愛媛大学
レベルⅠ 1回 8月下旬 ※SPODフォーラム2013において開催
レベルⅡ 1回 7月中旬
- ・社会連携系職員養成研修（年1回） 開催場所：愛媛大学
※SPODフォーラム2013において開催
※主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年8回）
平成24年度受講者対象 4回，平成25年度受講者対象 4回
開催場所：徳島県，愛媛県，香川県，関西
第1回 5月下旬 愛媛
第2回 8月上旬 関西
第3回 11月上旬 香川
第4回 平成26年1月下旬 徳島

- ※主担当：SPOD事務局 協力校：高知大学
- ・高等教育トップリーダーセミナー（年1回） 開催場所：愛媛大学
SPODフォーラム2013で実施
- ※主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学
- ・スタッフ・ポートフォリオの開発
ワークショップをSPODフォーラム2013で実施
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2013掲載したプログラム，派遣事業プログラム

3. SPODフォーラム

- ・平成25年8月20日（火）～23日（金） 開催場所：愛媛大学
全体テーマ「ポートフォリオ（TP, SP, LP）による教育の質向上」
※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）と共催

4. SPOD共通事業

- ・SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計26回） 開催場所：各加盟校
ただし，短期大学及び短期大学部が併設されている4年制大学については，あわせて1回とする。詳細は，研修プログラムガイド2013に掲載
- ・遠隔専用セミナー「SPODチャンネル」の配信
- ・調査研究プロジェクト事業（年3回）
 - ①高等教育教授能力証明プログラム検討ワーキンググループ（FD部門）
 - ②連携効果検証ワーキンググループ（FD部門）
 - ③組織変容検証ワーキンググループ（FD部門）
 - ④学生調査・IRワーキンググループ（FD部門）
 - ⑤連携効果・組織変容検証ワーキンググループ（SD部門）

5. SPOD運営

- ①総会（年1回） 平成26年3月頃
- ②ネットワークコア運営協議会（毎月）
- ③事業評価委員会（年1回） 平成26年3月頃
- ④監査（年1回） 平成26年3月頃
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成26年3月頃）
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催（平成26年3月頃）
 - ii. SPOD加盟校県内会議
 - ・徳島県内（随時）
 - ・香川県内（随時）
 - ・愛媛県内（随時）
 - ・高知県内（随時）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

事業評価委員会委員名簿

(任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日)

沖 裕貴 立命館大学教育開発推進機構教育開発支援センター長 教授

各務 正 順天堂大学総務局企画調整室 部長

栗田 佳代子 東京大学大学総合教育研究センター 特任准教授

田中 岳 九州大学基幹教育院教育企画開発部 准教授

福島 一政 追手門学院大学 副学長

(計5名 五十音順 敬称略)

※下線部分は新規委員